

門真市第6次総合計画

令和5年度実施計画改定版

(令和5年9月改定)



Kadoma
Osaka
city

目次

1. 門真市第6次総合計画令和5年度実施計画改定版について	1
2. 実施計画改定版の掲載事業について	2
3. 事業体系の見方について	2
4. 基本施策別実施計画	3

分野	基本施策名	施策コード	事業番号	事業名	担当課名	掲載頁
子育て	みんなで支え合う 子育て環境づくり	00101	014	子どもの貧困対策事業	こども政策課	3
				子育て世帯への支援	009/016	保育所等給食費補助事業
	就学前教育・保育の充実	00103	004	病児・病後児保育事業	保育幼稚園課	5
				健康増進課	6	
健康管理	母子保健の充実	00302	010	出産・子育て応援給付金給付事業	健康増進課	7
まちづくり	まちなみづくり	00501	017	庁舎エリア整備事業	庁舎エリア整備課	8
				快適な住まい環境の充実	00502	002
	快適な道路環境の形成	00505	001	交通安全対策事業	道路公園課	10
				004	道路整備事業	道路公園課
環境	生活環境保全	00602	007	環境基本計画等進行管理事業	環境政策課	12
地域振興	市民公益活動と 協働・共創の促進	00802	007	門真市公民連携デスク運営事業	企画課	13
				産業振興	地域産業の強化と発展	00901

1. 門真市第6次総合計画令和5年度実施計画改定版について

門真市第6次総合計画（以下、「総合計画」という。）は基本構想、基本計画、実施計画の三層構造により構成されています。

このうち実施計画は、総合計画の基本計画における諸施策を効果的に実施するための指針となるものであり、計画期間を3年間とし、財政状況を踏まえて1年ごとのローリング方式により毎年度策定するものとしています。

また、3年間のサンセット方式を取り入れるとともに「事業の見える化」をコンセプトとした「使える計画」とするため、従来の事務事業評価を兼ねた様式に改め、事業提案書及び決算附属書類とも連動した実施計画としています。

令和5年度実施計画は令和5年3月に策定しましたが、6月、9月、12月及び3月末時点において、一般会計補正予算による事業の修正等を踏まえ、必要に応じて改定版を策定することとします。

2. 実施計画改定版の掲載事業について

実施計画は、計画期間中に実施する事業のうち、第6次総合計画の基本施策の推進に寄与するすべての事業を対象としていますが、本改定版は、追加及び事業内容を変更した事業を掲載しています。ただし、経常扱い及び事業費のみ変更した事業は対象外としています。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により新たに実施する事業は事業名の最後に「（新型コロナ対策）」と記載しています。

※新型コロナ対策事業は、内閣府の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を財源に実施していますが、各事業の財源内訳の欄には、国庫支出金ではなく一般財源として記載しています。

3. 事業体系の見方について

事業体系は、基本施策推進のために実施している事業を一覧で示しています。

事業番号、事業名及び変更点を記載しています。

変更点の記載内容について、つぎのとおり示しています。

事業番号	事業名	変更
001	なかしん広場運営事業	—
002	ファミリーサポートセンター運営事業	—
003	養育支援助成事業	—
004	地域子育て支援センター運営事業	—
005	放課後児童クラブ運営事業	—
007	就学援助事業	—
008	奨学金事業	—
011	ファミリーサポートセンター運営事業（新型コロナ対策）	—
012	公民連携子どもの居場所事業（子どもLOBBY）	変更
013	学校・園における各種世代間交流事業	—
014	子どもの貧困対策事業	—

追加：新たに追加する事業

変更：当初掲載していた事業内容に変更がある事業

—：追加及び変更がない事業

8. 基本施策別実施計画

<基本施策>

分野名	子育て		基本施策名	みんなで支え合う子育て環境づくり
施策コード	00101	SDGs	   	
2025年問題関連施策	○			
めざすべき方向性	地域全体で子どもを育てるまちをつくります 子育てと仕事が両立でき、子育てへの不安が軽減され、世代間交流が深まるなど地域全体の見守りの中で、子育てしやすいまちをめざします。			
指標		現状値	目標値	
1	放課後児童クラブの待機児童数	0人 (2018年度)	0人	
2	子どもの未来応援団員から情報提供を受けて支援に動きだした件数	58件 (2018年度)	300件	

<事業体系>

みんなで支え合う子育て環境づくり			
事業番号	事業名	変更点	
001	なかよし広場運営事業	—	
002	ファミリー・サポート・センター運営事業	—	
003	養育支援訪問事業	—	
004	地域子育て支援センター運営事業	—	
005	放課後児童クラブ運営事業	—	
006	放課後児童クラブ運営事業（新型コロナ対策）	—	
007	就学援助事業	—	
008	奨学金事業	—	
009	地域子育て支援センター運営事業（新型コロナ対策）	—	
010	なかよし広場運営事業（新型コロナ対策）	—	
011	ファミリー・サポート・センター運営事業（新型コロナ対策）	—	
012	公民連携子どもの居場所事業（子どもLOBBY）	—	
014	子どもの貧困対策事業	変更	
016	放課後子ども教室運営事業	—	
018	公民連携「ミライのシゴトEXPO」事業（市制60周年）	—	
019	支援対象児童等見守り強化事業（ひとり親家庭等応援KadoEats）	—	

<事業別詳細>

事業名	子どもの貧困対策事業			担当課	こども政策課	事業コード	0	0	1	0	1	—	0	1	4
						事業開始年度	平成29年度								
事業概要	支援の必要な子どもがもれなく救われるようセーフティネットを強化するため、「子どもの未来応援団員」を養成し、支援を要する子ども及び保護者の発見から支援の実施、見守りまでをトータルでサポートする地域・行政・企業等のネットワークおよび見守り体制を構築する。その一環として市南部地域に子どもの居場所を設置するなど地域の見守り拠点を整備することで子どものシグナルをいち早くキャッチして支援につなげる。また、行政のみならず企業等と公民連携を進め、地域で子どもを見守る気運及び事業認知度の向上を図る。														
事業目的	子どもの貧困の世代間連鎖を食い止めるために支援を要する子ども及び保護者の早期発見・早期支援を行うことにより貧困の連鎖を断ち切ることを目的とする。														
事業の計画	年度	事業の方向性	事業の実施内容												
	令和5年度	①事業実施	<ul style="list-style-type: none"> ・「子どもの未来応援団員」の養成研修の実施 ・企業やNPO等を含めた子どもの見守りネットワークの構築 ・大阪府内市町村共同による「子どもの生活に関する実態調査」の実施 ・市南部地域に子どもの居場所を設置 												
	令和6年度	②見直し・検討	<ul style="list-style-type: none"> ・「子どもの未来応援団員」の養成研修の実施 ・企業やNPO等を含めた子どもの見守りネットワークの構築 ・調査結果に基づき、事業の効果検証・見直し等の実施 												
	令和7年度														
活動指標	指標名	応援団員登録者数			成果指標	指標名	子どもの未来応援チームの対応ケース数								
	令和5年度目標値	1,600名				令和5年度目標値	100件								
事業費 (令和5年度補正後予算)	款	民生費				事業に係る補正後予算額	22,854千円								
	項	児童福祉費													
	目	児童福祉総務費													
	財源内訳(千円)	一般財源		特定財源											
			国庫支出金	府支出金	負担金・分担金・寄付金	市債	その他								
	11,428		2,122	9,304	0	0	0								

<基本施策>

分野名	子育て		基本施策名	子育て世帯への支援
施策コード	00102	SDGs	   	
2025年問題関連施策	○			
めざすべき方向性	安心して子育てができる子育て支援のまちをつくれます 子育て世代を支援することにより、子育ての不安が軽減され、安心して子育てができるまちをめざします。			
	指標		現状値	目標値
1	保育サービスや子育て家庭への支援が充実し、子育てしやすい環境ができていると思う人の割合		62.9% (2019年度)	80.0%
2	要保護児童連絡調整会議による新規登録件数		383件 (2018年度)	286件

<事業体系>

子育て世帯への支援			
事業番号	事業名	変更点	
001	未熟児養育医療給付事業	—	
002	こども医療助成事業	—	
003	ひとり親家庭医療助成事業	—	
004	赤ちゃんの駅設置事業	—	
005	子育て短期支援事業	—	
006	家庭児童相談事業	—	
007	ひとり親自立支援事業	—	
008	子ども・子育てサービス利用者支援事業	—	
009/016	保育所等給食費補助事業	変更	
015	母子生活支援施設入所事業	—	
023	保育所等物価高騰対策支援事業（新型コロナ対策）	—	
024	母子保健・児童福祉一体的相談支援機関運営事業	—	

<事業別詳細>

事業名	担当課		保育幼稚園課	事業コード	0	0	1	0	2	-	0	0	9
				事業開始年度	0	0	1	0	2	-	0	1	6
事業名	保育所等給食費補助事業			事業開始年度	令和元年度/令和2年度								
事業概要	公私立保育所、認定こども園及び新制度幼稚園を利用する門真市在住の1・2号認定児について副食費の補助を実施する。また、新制度未移行の幼稚園を利用する門真市在住の児童に対し、副食費の補助を実施する。												
事業目的	副食費の補助を実施することで、すべての子どもに対して乳幼児期に大切にす基本的な心身の発達や学びを確保し、市内子育て世帯の定住化につなげるとともに市内への子育て世帯の流入を図ることを目的とする。												
事業の計画	年度	事業の方向性	事業の実施内容										
	令和5年度	①事業実施	・市内子育て世帯の定住化につなげるとともに、市内への子育て世帯の流入を図るため、事業を継続 ・国の基準額見直しに伴い補助金及び補足給付上限を4,500円から4,700円へ引き上げ										
	令和6年度	①事業実施	・市内子育て世帯の定住化につなげるとともに、市内への子育て世帯の流入を図るため、事業を継続										
	令和7年度	②見直し・検討	・市内子育て世帯の定住化につなげるとともに、市内への子育て世帯の流入を図るため、事業を継続 ・今後に向けて事業の方向性を検討										
活動指標	指標名	年間延べ補助対象者数（公立含む）	成果指標	指標名	—								
	令和5年度目標値	17,000人		令和5年度目標値	—								
事業費 (令和5年度補正後予算)	款	民生費／教育費		事業に係る補正後予算額	78,122千円								
	項	児童福祉費／幼稚園費											
	目	児童措置費／教育振興費											
	財源内訳(千円)	一般財源	特定財源										
		国庫支出金	府支出金	負担金・分担金・寄付金	市債	その他							
	55,128	1,372	1,372	0	0	20,250							

<基本施策>

分野名	子育て		基本施策名	就学前教育・保育の充実
施策コード	00103	SDGs	 	
2025年問題 関連施策	○			
めざすべき 方向性	安定した保育環境が充実し、質の高い教育・保育を受ける環境が整っているまちをつくります 子どもの教育・保育環境が充実し、全ての子育て世帯が安心して子育てができるまちをめざします。			
指標			現状値	目標値
1	年度末時点の保育所等の待機児童数		205人 (2018年度)	0人
2	門真市は安心して楽しく子育てができる環境だと思ふ人の割合		31.4% (2019年度)	70.0%


<事業体系>

就学前教育・保育の充実			
事業番号	事業名		変更点
003	民間保育所等補助事業		—
004	病児・病後児保育事業		変更
005	幼児教育推進事業		—
006	公立幼稚園運営事業		—
007	公立認定こども園運営事業		—
008	公立保育所運営事業		—
014	保育士等確保事業		—
015	公立幼稚園運営事業（新型コロナ対策）		—
016	民間保育所等補助事業（新型コロナ対策）		—
017	公立保育所運営事業（新型コロナ対策）		—
018	公立認定こども園運営事業（新型コロナ対策）		—
020	北部地域公立認定こども園整備事業		—
021	第3期子ども・子育て支援事業計画策定事業		—

<事業別詳細>

事業名	病児・病後児保育事業			担当課	保育幼稚園課		事業コード	0	0	1	0	3	—	0	0	4
							事業開始年度	平成23年度								
事業概要	病気や病後回復期の児童で、保護者の就労等の理由により、保護者が保育できない場合に、医療機関等に付設された専用スペース等で児童を一時的に預かる。また、月額2,000円の利用料金を500円へ引き下げ、利用者の負担軽減を図る。															
事業目的	保護者の就労等により、家庭で保育できない病気や病後回復期の児童を預かることにより、子育てと就労の両立支援を図ることを目的とする。															
事業の計画	年度	事業の方向性	事業の実施内容													
	令和5年度	①事業実施	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を継続し、子育て世帯の支援を実施 ・当日キャンセル対応加算を追加 													
	令和6年度	②見直し・検討	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を継続し、子育て世帯の支援を実施 ・今後に向けて事業の方向性を検討 													
	令和7年度															
活動指標	指標名	病児・病後児保育室利用者数			成果指標	指標名	—									
	令和5年度目標値	870人				令和5年度目標値	—									
事業費 (令和5年度 補正後予算)	款	民生費				事業に係る 補正後予算額	22,517千円									
	項	児童福祉費														
	目	児童措置費														
	財源内訳 (千円)	一般財源		特定財源												
			国庫支出金	府支出金	負担金・分担金・寄付金	市債	その他									
	8,221		7,148	7,148	0	0	0									

<基本施策>

分野名	健康管理		基本施策名	母子保健の充実
施策コード	00302	SDGs		
2025年問題 関連施策	○			
めざすべき 方向性	妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援体制の充実したまちをつくります 妊娠届出時から専門職等が丁寧に保護者に寄り添い、継続的にかかわりを持ち、困ったときにいつでも気軽に相談ができる関係を構築し、親も子も心身ともに健やかに過ごせるまちをめざします。			
指標			現状値	目標値
1	4か月児健康診査対象者の受診率		94.4%	98.0%
	1歳6か月児健康診査対象者の受診率		94.6%	97.0%
	3歳6か月児健康診査対象者の受診率		91.6%	95.0%
			(2018年度)	
2	妊娠11週以下での妊娠の届出率		94.5%	95.0%
			(2018年度)	



<事業体系>

母子保健の充実			
事業番号	事業名	変更点	
001	こんにちは赤ちゃん事業	—	
002	妊婦健康診査公費負担事業	—	
003	乳幼児健康診査事業	—	
004	育児サポートセンター門真親子教室事業	—	
005	妊娠・出産包括支援事業	—	
007	乳幼児健康診査事業（新型コロナ対策）	—	
009	育児サポートセンター門真親子教室事業（新型コロナ対策）	—	
010	出産・子育て応援給付金給付事業	変更	

<事業別詳細>

事業名	出産・子育て応援給付金給付事業			担当課	健康増進課	事業コード	0	0	3	0	2	-	0	1	0
							事業開始年度 令和4年度								
事業概要	妊娠期から出産・子育て世帯を対象に、従来の伴走型の相談支援に加え、妊娠8ヶ月時のWEBアンケート・面談及びギフトサービス事業者を活用した現金・電子ギフトの給付による経済的支援を実施する。また、住民税非課税世帯か同等の所得水準にある妊婦が、経済的な負担を理由に受診を控えることがないよう、初回の産科受診料を支援し、伴走型相談支援と連携してより効果的な切れ目のない支援を実施する。														
事業目的	妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型の相談支援を充実し、経済的支援を一体として実施することを目的とする。														
事業の計画	年度	事業の方向性	事業の実施内容												
	令和5年度	①事業実施	<ul style="list-style-type: none"> 事業開始後の出産応援ギフトの申請受付及び給付（妊娠届出時の面談後） 事業開始後の子育て応援ギフトの申請受付及び給付（出生後のこんには赤ちゃん訪問等の面談後） 妊娠8ヶ月時のアンケート及び面談の実施 事業開始後の低所得妊婦初回受診料助成の申請受付および給付 												
	令和6年度	②見直し・検討	今後に向けて事業の方向性を検討												
	令和7年度														
活動指標	指標名	給付金支給率			成果指標	指標名	面談実施率（給付時）								
	令和5年度目標値	90%				令和5年度目標値	90%								
事業費 (令和5年度 補正後予算)	款	衛生費				事業に係る 補正後予算額	100,704 千円								
	項	保健衛生費													
	目	保健衛生総務費													
	財源内訳 (千円)	一般財源		特定財源											
		国庫支出金	府支出金	負担金・分担金・寄付金	市債	その他									
	20,897	66,602	13,205	0	0	0									

<基本施策>

分野名	まちづくり		基本施策名	まちの顔づくり
施策コード	00501	SDGs	 	
2025年問題 関連施策				
めざすべき 方向性	安全・安心で災害に強く、賑わいと交流のある人々が集うまちをつくります 密集市街地対策を推進するとともに駅周辺等への都市機能集約を図り、安全・安心で賑わいと交流のある、まちの顔づくりに取り組みます。			
指標		現状値	目標値	
1	地震時等に著しく危険な密集市街地の面積	137ha (2019年度)	0 ha	
2	市街化区域の割合	97.2% (2018年度)	100.0%	
3	主要駅の周辺がまちの顔としてにぎわいのある魅力的な環境だと感じる人の割合	31.9% (2019年度)	70.0%	

<事業体系>

まちの顔づくり			
事業番号	事業名	変更点	
003	地震時等に著しく危険な密集市街地老朽木造建築物等除却補助事業	—	
004	地震時等に著しく危険な密集市街地整備事業	—	
005	延焼遮断帯整備促進事業	—	
007	北島地域土地区画整理事業	—	
009	住宅市街地総合整備事業に関する事務	—	
011	密集市街地整備事業	—	
013	エリアマネジメント推進事業	—	
014	エリアリノベーション推進事業	—	
015	古川橋駅周辺ウォーカブル推進事業	—	
016	庁舎エリア整備に関する事務	—	
017	庁舎エリア整備事業	変更	

<事業別詳細>

事業名	庁舎エリア整備事業			担当課	庁舎エリア整備課	事業コード	0	0	5	0	1	—	0	1	7
							事業開始年度								
事業概要	「人や活動を招き入れ、新たなまちづくりの動きや情報を創造し、発信・波及させる拠点」、「『庁舎機能』『公園・広場機能』『防災機能』『周辺エリア』などが連携し、一体的に機能を発揮できる場」として“まちの顔”を創出し定住魅力を高める庁舎エリアの整備を実現する。														
事業目的	人や活動を招き入れ、周辺エリアと一体的に連携する公共施設・公共空間の整備や、災害時の対策本部機能等を有する庁舎及び庁舎等と連携して市域の救援・復旧活動を行う機能等を有する広場を整備するもの。														
事業の計画	年度	事業の方向性	事業の実施内容												
	令和5年度	①事業実施	<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎エリア周辺道路の歩道拡幅に伴う建物調査、用地買収、建物補償の実施 ・公共施設・公共空間の整備に伴う土壌汚染状況調査の実施 ・庁舎エリア整備アドバイザー等業務委託を開始 ・執務環境調査・チェンジマネジメント支援業務委託の開始 ・基本計画等策定支援業務委託に係る選定委員会の実施 ・高圧線地中化に係る調査・設計等の実施 												
	令和6年度	①事業実施	<ul style="list-style-type: none"> ・広場整備エリアに伴う用地買収の実施 ・庁舎エリア整備アドバイザー等業務委託の実施 ・執務環境調査・チェンジマネジメント支援業務委託の実施 ・基本計画等策定支援業務委託の開始 ・高圧線地中化に係る調査・設計等の実施 												
	令和7年度	②見直し・検討	<ul style="list-style-type: none"> ・執務環境調査・チェンジマネジメント支援業務委託の実施 ・基本計画等策定支援業務委託の実施 ・高圧線地中化に係る調査・設計等の実施 ・今後に向けて事業の方向性を検討 												
活動指標	指標名	公共用地取得面積			成果指標	指標名	—								
	令和5年度目標値	750㎡				令和5年度目標値	—								
事業費 (令和5年度補正後予算)	款	土木費				事業に係る補正後予算額	417,776 千円								
	項	都市計画費													
	目	庁舎エリア整備事業費													
	財源内訳(千円)	一般財源	特定財源												
		国庫支出金	府支出金	負担金・分担金・寄付金	市債	その他									
	5,358	190,178	0	0	171,500	50,740									

<基本施策>

分野名	まちづくり		基本施策名	快適な住まい環境の充実
施策コード	00502	SDGs		
2025年問題 関連施策				
めざすべき 方向性	安全・安心で快適な暮らしができるまちをつくれます 住宅・住環境の整備に関する支援を行うことにより、まちの安全性が高まり、定住意向が高まるようなまちづくりに取り組みます。			
指標			現状値	目標値
1	住宅の耐震化率		76.8% (2015年度)	95.0%
2	空き家率		17.4% (2013年度)	15.2%

<事業体系>

快適な住まい環境の充実			
事業番号	事業名		変更点
001	空家等対策事業		—
002	市営住宅維持管理事業		変更
003	住居表示整備事業		—
004	建築物診断・改修補助事業		—
005	住宅・建築物アスベスト飛散防止対策事業		—
006	木造住宅等建て替え促進事業		—
007	危険家屋等対策事業		—
012	門真市駅前地区市街地再開発事業		—

<事業別詳細>

事業名	市営住宅維持管理事業		担当課	都市政策課	事業コード	0	0	5	0	2	-	0	0	2
					事業開始年度	昭和27年度								
事業概要	市営住宅の維持・管理を行う。													
事業目的	市営住宅の入居者が安心して快適に過ごすため、施設の維持管理等を行う。													
事業の計画	年度	事業の方向性	事業の実施内容											
	令和5年度	①事業実施	・新橋市営住宅1期入居者へ移転補償を実施 ・門真住宅建替事業を実施 ・市営千石西町住宅：門真住宅の移転対象者及び移転希望者へ移転補償を実施 ・寿市営住宅1期屋根外壁配管改修工事を実施 ・新橋市営住宅2期のアルミサッシ改修工事を実施 ・府営住宅第2次移管事業に係る指定管理者の選定											
	令和6年度	①事業実施	・新橋市営住宅1期入居者へ移転補償を実施 ・門真住宅建替事業を実施 ・市営千石西町住宅：門真住宅の移転対象者及び移転希望者へ移転補償を実施											
	令和7年度	②見直し・検討	・新橋市営住宅1期入居者へ移転補償を実施 ・門真住宅建替事業を実施 ・市営千石西町住宅：門真住宅の移転対象者及び移転希望者へ移転補償を実施 ・今後に向けて事業の方向性を検討											
活動指標	指標名	市営住宅入居者へ満足度等のアンケート調査を実施	成果指標	指標名	満足度									
	令和5年度目標値	1回		令和5年度目標値	80%									
事業費 (令和5年度補正後予算)	款	土木費			事業に係る補正後予算額	3,742,358千円								
	項	住宅費												
	目	住宅管理費/改良住宅管理費												
	財源内訳(千円)	一般財源	特定財源											
		国庫支出金	府支出金	負担金・分担金・寄付金	市債	その他								
	1,117	1,451,822	0	0	1,666,900	622,519								

<基本施策>

分野名	まちづくり		基本施策名	快適な道路環境の形成
施策コード	00505	SDGs		
2025年問題 関連施策				
めざすべき 方向性	安全・安心で快適な道路環境のまちをつくります 国道や府道、市道を中心とした道路ネットワークの形成に取り組むとともに、引き続き、安全で快適な道路空間の確保に取り組めます。			
指標		現状値	目標値	
1	都市計画道路整備延長	25.25km (2018年度)	26.04km	
2	年間歩道改良箇所数	1箇所 (2018年度)	5箇所	
3	年間交通事故発生件数	535件 (2019年)	400件	

<事業体系>

快適な道路環境の形成			
事業番号	事業名	変更点	
001	交通安全対策事業	変更	
002	交通安全施設整備事業	—	
003	道路維持管理事業	—	
004	道路整備事業	変更	
005	道路管理調査等事業	—	
007	照明灯LED化事業	—	
008	狭あい道路拡幅整備事業	—	

<事業別詳細>

事業名	交通安全対策事業			担当課	道路公園課	事業コード	0	0	5	0	5	—	0	0	1
	事業開始年度					昭和38年度									
事業概要	広く市民に交通安全思想の普及浸透を図り、交通マナーの実践を習慣付けることで交通事故の防止と駐車秩序の確立を図る。また、市民が安全に道路を利用できるよう、危険箇所看板等を設置し、交通安全の啓発等を行う。														
事業目的	交通事故の削減により、安心して快適な市民生活の促進を図るため。														
事業の計画	年度	事業の方向性	事業の実施内容												
	令和5年度	①事業実施	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全総点検の実施等を通しての、市民等からの要望の汲み取り 要望内容の改善に必要と判断すれば、交通安全啓発看板、路面シートの設置の実施 規制に向けた警察協議、地元調整（門真中央線） 本整備に向けた追加設計業務（門真中央線） 												
	令和6年度	①事業実施	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全総点検の実施等を通しての、市民等からの要望の汲み取り 要望内容の改善に必要と判断すれば、交通安全啓発看板、路面シートの設置の実施 本整備工事の実施（門真中央線） 												
	令和7年度	②見直し・検討	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全総点検の実施等を通しての、市民等からの要望の汲み取り 要望内容の改善に必要と判断すれば、交通安全啓発看板、路面シートの設置の実施 今後に向けて事業の方向性を検討 												
活動指標	指標名	交通安全総点検開催回数			成果指標	指標名	—								
	令和5年度目標値	2回				令和5年度目標値	—								
事業費 (令和5年度補正後予算)	款	土木費				事業に係る補正後予算額	23,666 千円								
	項	道路橋りょう費													
	目	交通政策費													
	財源内訳(千円)	一般財源		特定財源											
			国庫支出金	府支出金	負担金・分担金・寄付金	市債	その他	8,769	0	0	0	0	14,897		

事業名	道路整備事業			担当課	道路公園課	事業コード	0	0	5	0	5	—	0	0	4
	事業開始年度					昭和27年度									
事業概要	市民が安全で安心して快適に通行できるような道路空間を提供するため、生活道路を中心に公共空間を有効利用し、道路の再整備や改良を行う。区域内の地権者等に事業の説明を行い、事業に対する合意が得られた箇所の建物調査・補償算定業務、用地確定測量、土地鑑定業務を実施し、建物等の除却後、駅前広場の整備を実施する。〔門真市通学路交通安全プログラム〕に課題箇所として該当しており、児童の安全な歩行空間の確保が必要であり、当該区間の現道拡幅を行うものである。														
事業目的	生活道路を中心に事故防止及び歩行者・自転車利用者の安全確保に寄与することを目的とし、車道・歩道の道路改良を図るため。鉄道や路線バス等の乗り継ぎを便利にするなどターミナル機能の向上を図り、公共交通の結節点にふさわしい便利で賑わいのある駅前広場とするため。														
事業の計画	年度	事業の方向性	事業の実施内容												
	令和5年度	①事業実施	<ul style="list-style-type: none"> 上野口南北1号線について歩行空間の確保のための歩道整備工事の実施 浜町桑才線の一部について用地確定測量、土地鑑定及び歩道整備工事を実施 大和田駅前広場において、地権者交渉、建物補償、用地購入、基本構想の策定、用地取得に至った一部の箇所について歩道暫定整備（一般車両等の乗降場の設置も含む。）、社会実験実施にむけた整備を実施 												
	令和6年度	①事業実施	<ul style="list-style-type: none"> 大和田駅前広場において、地権者交渉、建物補償、用地購入、基本構想の策定 												
	令和7年度	②見直し・検討	<ul style="list-style-type: none"> 大和田駅前広場において、基本設計業務を実施 今後に向けて事業の方向性を検討 												
活動指標	指標名	整備・改良箇所数			成果指標	指標名	—								
	令和5年度目標値	2か所				令和5年度目標値	—								
事業費 (令和5年度補正後予算)	款	土木費				事業に係る補正後予算額	500,848 千円								
	項	土木管理費/道路橋りょう費													
	目	土木総務費/道路新設改良費													
	財源内訳(千円)	一般財源		特定財源											
			国庫支出金	府支出金	負担金・分担金・寄付金	市債	その他	18,748	229,894	0	0	202,400	49,806		

<基本施策>

分野名	環境		基本施策名	生活環境保全				
施策コード	00602	SDGs	3 すべての人に健康と福祉を	11 住み続けられるまちづくりを	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	17 パートナーシップで目標を達成しよう
2025年問題 関連施策								
めざすべき 方向性	生活環境を保全し、美しいまちをつくります 市民主体による清掃活動やたばこやごみ等のポイ捨て防止の取組をさらに進めるとともに、公害対策を継続し、安全な生活環境が整ったまちをめざします。							
指標			現状値	目標値				
1	清掃活動の参加者数		5,267名 (2018年度)	6,000名				
2	公害が少ない環境の良いまちだと思う市民の割合		44.9% (2019年度)	70.0%				

<事業体系>

生活環境保全			
事業番号	事業名		変更点
001	環境美化推進事業		—
002	路上喫煙防止対策事業		—
003	公害対策・監視事業		—
004	動物愛護管理対策事業		—
005	防疫事業		—
006	古川橋駅周辺ムクドリ対策事業		—
007	環境基本計画等進行管理事業		変更

<事業別詳細>

事業名	環境基本計画等進行管理事業			担当課	環境政策課	事業コード	0	0	6	0	2	-	0	0	7
							事業開始年度 平成26年度								
事業概要	将来にわたり持続可能な循環型社会、脱炭素社会を形成し、安全、安心に暮らせる環境を実現するため、門真市環境基本条例第8条の規定により環境基本計画を策定する。また、ゼロ・カーボンシティ宣言の実現に向け、温室効果ガスの排出量削減等を推進するため、計画期間に達成すべき目標を設定するとともに、その目標を達成するための施策を検討するため、地球温暖化対策の推進に関する法律第21条の規定により地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を合わせて策定する。														
事業目的	門真市環境基本条例に定める、環境基本計画を策定し、環境の保全及び創造に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため。 また、市内の温室効果ガス排出量削減を推進するために、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を策定し、現在及び将来の市民の安全かつ健康で文化的な生活の確保に寄与する。														
事業の計画	年度	事業の方向性	事業の実施内容												
	令和5年度	①事業実施	<ul style="list-style-type: none"> 委託業者契約 庁内検討委員会の開催 環境審議会の開催 												
	令和6年度	①事業実施	<ul style="list-style-type: none"> 環境審議会の開催（3回）、答申 市民アンケート調査 計画策定に伴う庁内検討委員会の開催 パブリックコメントの実施 環境基本計画の改定 ・地方公共団体実行計画（区域施策編）の策定 												
	令和7年度	②見直し・検討	<ul style="list-style-type: none"> 区域施策編の活動指標の把握 今後必要な取組の検討 												
活動指標	指標名	環境審議会の開催			成果指標	指標名	—								
	令和5年度目標値	1回				令和5年度目標値	—								
事業費 (令和5年度補正後予算)	款	衛生費				事業に係る補正後予算額	114千円								
	項	保健衛生費													
	目	環境美化保全費													
	財源内訳(千円)	一般財源	特定財源												
		国庫支出金	府支出金	負担金・分担金・寄付金	市債	その他									
	114	0	0	0	0	0									

<基本施策>

分野名	地域振興		基本施策名	市民公益活動と協働・共創の促進
施策コード	00802	SDGs	11 住み続けられるまちづくりを	
2025年問題 関連施策	○			
めざすべき 方向性	市民の公益活動が盛んなまちをつくります 市民公益活動を通して、市民や各種団体、大学、企業などと連携を図りつつ、地域の課題解決や活性化、魅力あふれる自立したまちをめざします。			
指標		現状値	目標値	
1	市民公益活動支援センター相談回数（年間延）	67回 (2018年度)	150回	
2	NPO法人やボランティア活動に参加している人の割合	20.5% (2019年度)	60.0%	

<事業体系>

市民公益活動と協働・共創の促進			
事業番号	事業名		変更点
002	市民公益活動支援センター運営事業		—
006	条例指定寄附金事業		—
007	門真市公民連携デスク運営事業		変更

<事業別詳細>

事業名	門真市公民連携デスク運営事業			担当課	企画課	事業コード	0	0	8	0	2	-	0	0	7
	事業開始年度						令和4年度								
事業概要	共創推進のためのワンストップ窓口である「門真市公民連携デスク」において、民間事業者からの相談や提案を受け、連携可能な市事業や取組を確認し、事業所管課との調整を行う。また、事業所管課から抽出した公民連携によって解決したい課題を取りまとめ、民間事業者に対し、課題解決に向けた提案を募集する。そのほか、共創に係る庁内職員向けの研修や、多様な民間事業者等との共創による実験的プロジェクト「門真市未来共創プロジェクト「Co+Lab」(コラボ)」を実施する。														
事業目的	少子高齢化の進展や地域経済の縮小、社会インフラの老朽化などが進み、これらの課題に対し、複雑・多様化する市民ニーズに的確かつ持続的に応えていくために、民間事業者の力を活用し、新たなまちの魅力や価値を共に創りあげることが目的とする。また、2025年に開催する大阪・関西万博に向けて、多くの市民が万博に関心を持ち、その関心を継続的に繋げることで、万博参加への機運を醸成することを目的に、共創による実験的プロジェクトを実施する。														
事業の計画	年度	事業の方向性			事業の実施内容										
	令和5年度	①事業実施			<ul style="list-style-type: none"> 民間事業者との意見及び情報の交換 民間事業者からの提案及び相談の受付並びに事業を所管する課との調整 大阪府公民戦略連携デスクとの連携 共創に係る研修等の実施 民間事業者からの提案募集の実施 ・共創による実験的プロジェクト「門真市未来共創プロジェクト「Co+Lab」(コラボ)」を実施										
	令和6年度	①事業実施			<ul style="list-style-type: none"> 民間事業者との意見及び情報の交換 民間事業者からの提案及び相談の受付並びに事業を所管する課との調整 大阪府公民戦略連携デスクとの連携 共創に係る研修等の実施 民間事業者からの提案募集の実施 ・共創による実験的プロジェクト「門真市未来共創プロジェクト「Co+Lab」(コラボ)」を実施										
	令和7年度	②見直し・検討			<ul style="list-style-type: none"> 民間事業者との意見及び情報の交換 民間事業者からの提案及び相談の受付並びに事業を所管する課との調整 大阪府公民戦略連携デスクとの連携 共創に係る研修等の実施 民間事業者からの提案募集の実施 ・共創による実験的プロジェクト「門真市未来共創プロジェクト「Co+Lab」(コラボ)」を実施 ・今後に向けての事業の方向性を検										
活動指標	指標名	民間事業者の事業提案の採択数			成果指標	指標名	—								
	令和5年度目標値	3事業				令和5年度目標値	—								
事業費 (令和5年度補正後予算)	款	総務費				事業に係る補正後予算額	1,503千円								
	項	総務管理費													
	目	一般管理費													
	財源内訳(千円)	一般財源		特定財源											
			国庫支出金	府支出金	負担金・分担金・寄付金	市債	その他								
	1,503	0	0	0	0	0	0								

<基本施策>

分野名	産業振興		基本施策名	地域産業の強化と発展
施策コード	00901	SDGs		
2025年問題 関連施策	○			
めざすべき 方向性	産業が活性化しているまちをつくります 社会・経済情勢の変化に対応しながら産業が活性化し、生産性・収益力の高い企業が集積するまちをめざします。			
	指標		現状値	目標値
1	市内に事業所を有する全産業における付加価値額 ※付加価値額：事業所の生産活動によって新たに生み出された価値のこと 付加価値額＝売上高－費用総額＋給与総額＋租税公課		3,391億円 (2016年度)	3,391億円×(2020年－2030年国内実質GDP伸び率)を上回ること。
2	活発な工業活動ができるような環境になっていると感じる市民の割合		65.1% (2019年度)	80.0%

<事業体系>

地域産業の強化と発展			
事業番号	事業名	変更点	
001	ものづくり企業立地促進制度奨励金事業	—	
002	守口門真商工会議所事業補助事業	—	
004	ガドマイスターを探せ！事業	—	
005	中小企業サポートセンター運営事業	—	
006	ものづくりネットワーク事業	—	
007	農業振興事業	—	
009	工業振興対策事業	—	
010	創業支援事業	—	
023	「職住近接のまち」実現のための企業魅力アップ事業	—	
024	(仮称) 工業振興計画策定事業	—	
025	(仮称) 展示会出展事業	—	
026	産業誘導区域立地奨励補助事業	—	
027	商業振興補助事業(市制60周年)	—	
028	門真市農産物品評会(市制60周年)	—	
029	「Made in KADOMA」PR事業(市制60周年)	—	
030	かどまを満喫・カドマツリズムde商業振興事業(新型コロナ対策)	追加	

<事業別詳細>

事業名	かどまを満喫・カドマツアーリズムde商業振興事業（新型コロナ対策）			担当課	産業振興課	事業コード	0	0	9	0	1	—	0	3	0
						事業開始年度	令和5年度								
事業概要	令和5年4月に大型商業施設が開業し、本市への通勤者だけでなく、外国人も含めた市域外から訪問する人が生まれている状況である。さらに、今後も大型商業施設のリニューアルオープンなども予定されており、本市への来訪者をさらに滞在させるため、飲食店等のマップを作成しPRを行い、併せてPayPayボーナスが還元されるキャンペーンを実施する。														
事業目的	地域経済の支援と地域消費の拡大を図り、長期におよぶ物価高騰の影響を受ける事業者を支援するため。														
事業の計画	年度	事業の方向性	事業の実施内容												
	令和5年度	③廃止・完了	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食店等のマップ作成 ・キャッシュレスキャンペーンの実施 												
	令和6年度														
	令和7年度														
活動指標	指標名	飲食店等のマップ配布数			成果指標	指標名	—								
	令和5年度目標値	700部				令和5年度目標値	—								
事業費 (令和5年度 補正後予算)	款	商工費				事業に係る 補正後予算額	153,026 千円								
	項	商工費													
	目	商工振興費													
	財源内訳 (千円)	一般財源	特定財源												
		国庫支出金	府支出金	負担金・分担金・寄付金	市債	その他									
	153,026	0	0	0	0	0									

**門真市第6次総合計画
令和5年度実施計画改定版
(令和5年9月改定)**

発行／門真市企画財政部 令和5年11月

〒571-8585 門真市中町1番1号

電話 06-6902-1231、072-885-1231

編集／門真市企画財政部企画課